

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月5日

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

上場取引所 大

 コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) 関根 純

問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス&アドミニストレーション統括オフィサー (氏名) 北川 徹

TEL 03-5412-7481

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,751	2.3	2,236	8.1	2,297	5.6	1,258	—
23年3月期第1四半期	25,170	5.4	2,069	1.8	2,175	2.7	△1,043	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	877.61	874.43
23年3月期第1四半期	△731.06	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	51,119	34,208	66.9	23,861.18
23年3月期	50,791	33,667	66.3	23,486.24

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 34,208百万円 23年3月期 33,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	400.00	400.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	△0.8	3,650	△18.4	3,750	△18.3	1,950	553.9	1,360.18
通期	103,000	1.4	5,750	△9.2	5,950	△9.6	2,900	152.8	2,022.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	1,433,636 株	23年3月期	1,433,499 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	1,433,587 株	23年3月期1Q	1,427,466 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成23年5月12日に公表いたしました業績予想は、本資料においては修正しておりません。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災や原発事故により生産及び消費活動が広範に渡って影響を受けた結果、景気や雇用の不透明感が増し、概ね低調な状態で推移いたしました。

当社におきましては、この震災により主に東北・関東地方において営業を休止した店舗もありましたが、5月初旬までにこれらのすべての営業を再開しております。しかしながら、今後も電力不足による店舗の臨時休業または営業時間短縮の可能性や、冷え込んだ消費マインドの回復の不確かさなど、なお予断を許さない環境であります。

このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス（お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所）」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

新商品につきましては、ピバレッジでは豆乳を使用した新製法の「ソイ ストロベリー クリーム フラペチーノ[®]」が、フードでは「グレインブレッド BLT&エッグ」「ソイ ストロベリー ケーキ」「VIA x キャラメル シフォンケーキ」などが好評いただきました。

店舗展開につきましては、イオンレイクタウン内で5店舗目となった「越谷レイクタウン アウトレット店」やブック&カフェをコンセプトにした「LUCUA osaka店」等を出店いたしました。14店舗の新規出店（うちライセンス1店舗）、2店舗の退店（いずれも直営店）を行った結果、当第1四半期累計期間末における店舗数は924店舗（うちライセンス35店舗）となりました。

以上の活動の結果、売上高は25,751百万円（前年同期比2.3%増）となりました。東日本大震災の影響もあり、既存店売上高は対前年同期比97.4%となりましたが、継続的な新規出店により全体では増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下のとおりであります。

	月	4月	5月	6月	累計
既存店 対前年同期比	売上高	91.4%	101.6%	98.7%	97.4%
	取引件数	93.5%	100.0%	97.6%	97.1%
	客単価	97.7%	101.6%	101.2%	100.3%

売上総利益は19,145百万円（同4.4%増）と、前年同四半期累計期間に比べて804百万円の増益となり、売上総利益率は74.3%（同1.4ポイント増）となりました。これは、売上原価に関しまして、コーヒー豆の価格高騰による原価率上昇の影響があったものの、為替が円高に推移したこと等によるものであります。

営業利益は2,236百万円（同8.1%増）と、前年同四半期累計期間に比べて167百万円の増益となりました。これは、店舗環境及び人材への投資拡大による経費の増加等により、販売費及び一般管理費率が65.7%（同1.1ポイント増）となったものの、売上総利益の増加がこれを上回ったことによるものであります。

経常利益は2,297百万円（同5.6%増）と、前年同四半期累計期間に比べて122百万円の増益、四半期純利益は1,258百万円（前年同四半期累計期間は1,043百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて327百万円増加して51,119百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて417百万円増加いたしました。これは、主に売掛金384百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて90百万円減少いたしました。これは、主に固定資産の減価償却によるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて213百万円減少いたしました。これは、主に未払金の支払いによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて202百万円増加し、9,630百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、2,157百万円（前年同期は1百万円の減少）となりました。これは、主に法人税等の支払いが1,358百万円減少したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、1,321百万円（前年同期差599百万円増）となりました。これは、主に新規出店

及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得による支出が458百万円増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、633百万円(同138百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき400円から500円へと100円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月12日発表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,427	9,630
売掛金	3,059	3,443
商品及び製品	846	782
原材料及び貯蔵品	1,611	1,516
その他	3,501	3,493
貸倒引当金	24	26
流動資産合計	18,422	18,840
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,252	8,121
その他(純額)	3,341	3,206
有形固定資産合計	11,593	11,328
無形固定資産	1,172	1,115
投資その他の資産		
差入保証金	16,105	16,151
その他	3,587	3,773
貸倒引当金	89	90
投資その他の資産合計	19,603	19,834
固定資産合計	32,369	32,279
資産合計	50,791	51,119
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,317	2,046
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	129	129
未払法人税等	1,246	1,069
賞与引当金	-	132
震災関連費用引当金	68	7
その他	9,147	9,307
流動負債合計	13,107	12,892
固定負債		
長期借入金	101	101
役員退職慰労引当金	20	21
資産除去債務	3,735	3,791
その他	159	104
固定負債合計	4,016	4,018
負債合計	17,124	16,911

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,442	8,444
資本剰余金	11,017	11,019
利益剰余金	14,445	14,987
株主資本合計	33,906	34,451
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	238	242
評価・換算差額等合計	238	242
純資産合計	33,667	34,208
負債純資産合計	50,791	51,119

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	25,170	25,751
売上原価	6,829	6,605
売上総利益	18,341	19,145
販売費及び一般管理費	16,271	16,909
営業利益	2,069	2,236
営業外収益		
受取利息	3	1
プリペイドカード失効益	30	35
その他	78	34
営業外収益合計	112	70
営業外費用		
支払利息	2	1
その他	5	8
営業外費用合計	7	10
経常利益	2,175	2,297
特別利益		
退移店補償金	2	39
震災関連費用引当金戻入益	-	15
その他	0	1
特別利益合計	2	56
特別損失		
減損損失	312	105
固定資産除却損	6	9
固定資産臨時償却費	705	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,852	-
その他	1	1
特別損失合計	3,878	116
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	1,700	2,237
法人税等	656	978
四半期純利益又は四半期純損失()	1,043	1,258

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	1,700	2,237
減価償却費	866	904
固定資産臨時償却費	705	-
減損損失	312	105
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,852	-
引当金の増減額(は減少)	162	74
受取利息及び受取配当金	3	1
支払利息	2	1
有形固定資産除却損	6	10
売上債権の増減額(は増加)	273	384
たな卸資産の増減額(は増加)	383	159
仕入債務の増減額(は減少)	449	270
その他	212	599
小計	2,433	3,436
利息及び配当金の受取額	3	1
利息の支払額	0	0
発行保証金の金銭信託による増減額(は増加)	-	200
法人税等の支払額	2,437	1,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	1	2,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	713	1,172
無形固定資産の取得による支出	111	103
資産除去債務の履行による支出	-	4
差入保証金の差入による支出	83	219
差入保証金の回収による収入	163	182
その他	22	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	722	1,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	7	3
配当金の支払額	502	636
財務活動によるキャッシュ・フロー	494	633
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,218	202
現金及び現金同等物の期首残高	9,359	9,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,141	9,630

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第1四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第1四半期累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	19,525	75.8	107.7
フード	3,797	14.8	97.8
コーヒー豆	1,035	4.0	66.0
コーヒー器具等	886	3.4	86.5
店舗販売計	25,245	98.0	102.6
その他	506	2.0	88.9
合計	25,751	100.0	102.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。